

支え合いの地域を一緒につくっていきましょう

東部地区社会福祉協議会

地域みんなの **心** だんの **く** らしの **し** あわせを、みんなで考え、みんなで進めるのが**東部地区社会福祉協議会（地区社協）**です。地区社協は、地域のふくしのために「自分たちの地域を自分たちでよくしていこう」という、みなさんが主役になる活動をしています。



東部地区協議体

「生活支援体制整備事業」として**協議体会議**があります。この事業は住民主体の「支え合いの地域づくり」を目指すものです。そのための話し合いと実践のきっかけを作っていく組織が「**東部地区協議体**」(第2層)です。

東部地区見守り隊

東部地区見守り隊は、26 の自治会を単位とした地区見守り隊で組織されています。

見守り隊は、見守りが必要な方(子どもから高齢者)が、慣れ親しんだ地域で、安心して生活ができるよう、見守りやちょっとしたお手伝い、つながりづくりを行っています。



「小地域福祉活動計画」策定委員 (策定委員会委員長 木下文雄 同副委員長 中川 善昭) ◎は各策定委員グループ部会長 ○グループ副部会長

	氏 名	主 な 役 職		氏 名	主 な 役 職
人づくり	木下 文雄	地区社協会長・協議体委員長・見守り隊総隊長	子どもの見守り	中川 義昭	協議体副委員長
	◎ 福島 初夫	地区社協副会長		高木 雄大	協議体委員
	○ 星野 信男	地区社協理事・協議体委員		菊池 洋子	協議体委員
	○ 佐藤 康裕	地区社協理事		反保 直子	協議体委員
	益子 肇	地区社協高齢者福祉部長		橋本 正則	協議体委員
	鈴木隆太郎	地区社協監事・協議体委員	通いの場づくり	◎ 小川 廣志	地区社協副会長・協議体委員
	笠原 秀夫	地区社協理事・協議体委員		○ 江連 静子	地区社協理事・協議体委員
	森谷 浩一	協議体委員		小泉 正子	地区社協給食サービス部長
	佐藤 育子	協議体委員		鈴木 キン	地区社協理事
	上岡 史拓	協議体委員		大金 宣代	地区社協理事
子どもの見守り	熊田 睦子	協議体委員		渡辺千代子	地区社協理事
	◎ 穴山 武久	地区社協副会長・協議体委員		笠井 一正	地区社協理事
	○ 田口 秀司	地区社協事務局長・協議体委員		齋藤 雅弘	協議体委員
	佐々木守二	地区社協児童福祉部長		門間 大輝	協議体委員
	大島 哲夫	地区社協会計		菊地 貴章	協議体委員
	坂上 吉弘	地区社協理事		鈴木 隆一	生活支援コーディネーター
	木村日出夫	地区社協障害者福祉部長・協議体委員			

令和 7 年 3 月発行

編 集：東部地区小地域福祉活動計画策定委員会 事務局：大田原市社会福祉協議会内 (Tel 23-1130)

東 部 地 区
支え合いの地域づくり計画

《 第2次 小地域福祉活動計画 2025 年度～2029 年度 》

小地域福祉活動計画とは？

将来を見据え、私たちが住んでいる東部地区のよいところや課題などを話し合い、みんなで協力しながら「支え合いの地域づくり」（互助・共助）を進めるための「東部地区社会福祉協議会」の計画です。

《 目指す地域像 》

東部地区に広がる共助の輪

～ 気遣う心 支え合う力 こぼれる笑顔 ～

東部地区の人口構成等 (2025.1.1 現在)

人 口	東 部 地 区 合 計	8,899人	100%	自治会数	26自治会	
	年少人口(0～14歳)	1,081人	12.1%	世 帯 数	4,333世帯	
	生産年齢人口(15～64歳)	5,267人	59.2%	高 齢 化 率	大田原市	32.0%
	高 齢 者 人 口 (65 歳 以 上) (うち75歳以上の人口)	2,551人 (1,374人)	28.7% (15.4%)		東部地区	28.7%

地区の特色

東部地区は、大田原小学校・若草中学校を学区とする中心市街地です。金燈籠交差点を中心に主要な道路が形成されており、黒羽地区・湯津上地区をはじめとし、近隣市町とのアクセスも充実しています。

また、古くより奥州街道の宿場町として、また、戦国時代から続いた大田原氏の居城（大田原城）の城下町として繁栄しました。その歴史をしのばせる面影が随所に残っています。桜まつりをはじめとし、厳かな大田原神社の神事や歴史と伝統ある「屋台まつり」や「与一まつり」など、四季折々の行事が、街中に賑わいをもたらしています。

近年、少子高齢化等による人口減少等の諸背景により、中心部の空洞化が進んでいますが、昔ながらのご近所づきあいを基盤に、気遣いと支え合いができる地域づくりを目指しています。



歴史と伝統あふれる東部地区



ふくしの東部地区づくりに むけて取り組むこと

「ふくし」とは、**ふ**だんの**く**らしを**し**あわせにすること。
子どもからお年寄りまであらゆる人が、「人ごと」を「わがこと」として、お互いに支え合える東部地区をつくっていきましょう。

目 標		実現のための主たる具体目標	2025	2026	2027	2028	2029
1 人づくり	支え合い・助け合いの地域づくりのための人材の発掘、養成・確保に努めます。	地域づくり、人づくりのための研修会や事例研究会を実施します。	(見守り隊長会議、推進会議等で実施)				
		東部版「人材バンク」の整備を行い、人材確保を図ります。	(人材バンクの整備)		(人材バンクの利用・評価・改善)		
		災害時の身近な防災活動と支え合いの地域づくりを進めます。	(先進事例視察、研修)		(普及啓発・実施・評価)		
		地域コミュニティの活性化に向けた諸活動を進めます。	(課題の明確化と解決案の検討)			(実施・評価)	
2 子どもの見守り	子どもたちが安心・安全に登下校できるような体制づくりを進めます。	危険箇所等を調査し、通学路の安全マップの改訂を進めます。	(通学路安全調査)		(通学路安全マップ改訂・広報)		
		子どものための見守り組織を整え、見守り活動を行います。	(見守り活動の啓発・実施・評価改善)				
		子どもの見守り活動を通して、地域にあいさつの輪を広げます。	(あいさつ運動の啓発・実施・評価改善)				
3 通いの場づくり	子どもや高齢者が交流できる通いの場づくりや活動を通して地域の活性化に努めます。	さまざまな通いの場の情報を集め、通いの場を広めます。	(情報収集) (普及啓発・実施)		(啓発・実施・評価)		
		通いの場で子どもから高齢者まで交流する機会をつくります。	(ふれあいひろば実施・評価)			(交流啓発・実施・評価)	
		地域人材や資源を生かして通いの場を活性化します。	(情報収集・課題協議)		(広報等で啓発・実施・評価)		

人づくりで地域の絆をつくれます

地域みんなで「ふれあいひろば」



車いすに乗ってポッチャ体験



「ふれあいひろば」で中学生が活躍



火災防止のための消火訓練

子どもの見守りで安心安全な生活をつくれます



通学路安全マップの改訂

登下校時の通学路の点検



元気なあいさつと安全な登下校

通いの場を増やし楽しい地域をつくれます

集まってふだんの食事を考えよう



近所の方とコーヒータイム

みんな笑顔でフレイル予防



中学生と地域の方が一緒に調理



中学生寺子屋学習で地域の方と交流

